



ヴォルクタ収容所のフェンスと監視塔

令和6年度 平和祈念交流展

シベリアからの生還 リトアニア人たちの 流浪物語

Surviving Siberia: The Story of Lithuanians in Exile

2024年10月16日水 - 2025年1月19日日

※会期中に一部資料の入れ替えを行います。



レナ川岸にて



伐採作業中のリトアニア人追放者



トムスクにて 1954年

開館時間 9:30~17:30(入館は17:00まで)

休館日 毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)、12月28日(土)~1月6日(月)

主催 帰還者たちの記憶ミュージアム(平和祈念展示資料館[総務省委託])

共催 リトアニア国立博物館

協力 駐日リトアニア共和国大使館

入館無料



帰還者たちの記憶ミュージアム
MEMORIAL MUSEUM FOR SOLDIERS, DETAINEES
IN SIBERIA, AND POSTWAR REPATRIATES
平和祈念展示資料館[総務省委託]



リトアニアへの帰途につく女性と子供たち

20世紀半ば、リトアニアとその国民は試練と喪失の時代を経験しました。リトアニアは1940年にソ連に武力併合され、翌1941年から1944年までナチス・ドイツによる占領に苦しみます。その後再びソ連に支配され、およそ50年にわたる弾圧を受けました。

反ソ的とみなされた約28万人のリトアニア人が、北極圏やカザフスタン、シベリアなどの流刑地へと送られ、過酷な労働を強いられました。彼らは長期間にわたり抑留され、後に故郷へ生還できた一部の人々もソ連秘密警察の監視下に置かれます。自らの経験を家族間で話すことすらできず、抑圧されたまま生活しなければなりませんでした。

本展では、リトアニア国立博物館の協力のもと、ソ連政府が占領下のリトアニアの住民に対して行った政治弾圧と、強制移送された人々を待ち受けていた過酷な環境や労働、人としての尊厳や民族的アイデンティティを失うことなく生きようとする彼らの不断の努力、そして祖国への帰還の望みを紹介します。彼らの生きた証は、たとえ過酷な状況下であっても、ひとりひとりの名前が記憶され、その命が尊ばれるべき存在であることを、現在を生きる私たちに訴えかけています。



インタ収容所にて



バリオニス夫妻と子どもたち

関連イベント

🎬 アニメ上映(13分)

リトアニアのクリエイターが制作した短編アニメ映画『PURGA』を上映します。

🕒 10:00から30分毎(最終上映 16:30)

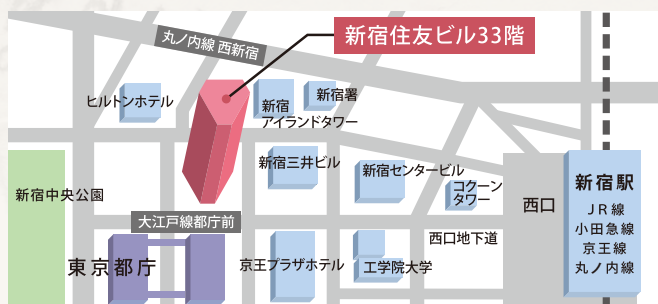
🎬 PURGA, 13min, 2023, Lithuania
PURGA film project : Gintarė Valevičiūtė Brazauskienė,
Antanas Skučas

🗨️ 学芸員によるギャラリートーク

📅 2024年10月20日(日)、11月17日(日)、12月15日(日)、
2025年1月19日(日)

🕒 各日とも13:00～(約30分)

🗨️ 同日14:00より定期語り部お話し会を開催します。



東京都新宿区西新宿2-6-1
新宿住友ビル33階

Tel:03-5323-8709

<https://www.heiwakinen.go.jp>



- 都営大江戸線「都庁前」駅 A6出口より徒歩約1分
- 東京メトロ丸ノ内線「西新宿」駅より徒歩約5分
- JR線、小田急線、京王線「新宿」駅西口より徒歩約10分

入館
無料

帰還者
たちの
記憶
ミュージアム
MEMORIAL MUSEUM FOR SOLDIERS, DETAINEES
IN SIBERIA, AND POST-WAR REPATRIATES
平和記念展示資料館【総務省委託】